

うづ保物語

菊の宴二止

古本九の巻

今板本六の巻二



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines. The script is dense and characteristic of early modern European cursive.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines. The script is dense and characteristic of early modern European cursive.

にまほしきまほしきまほしきまほしき
まほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

まほしきまほしきまほしきまほしき

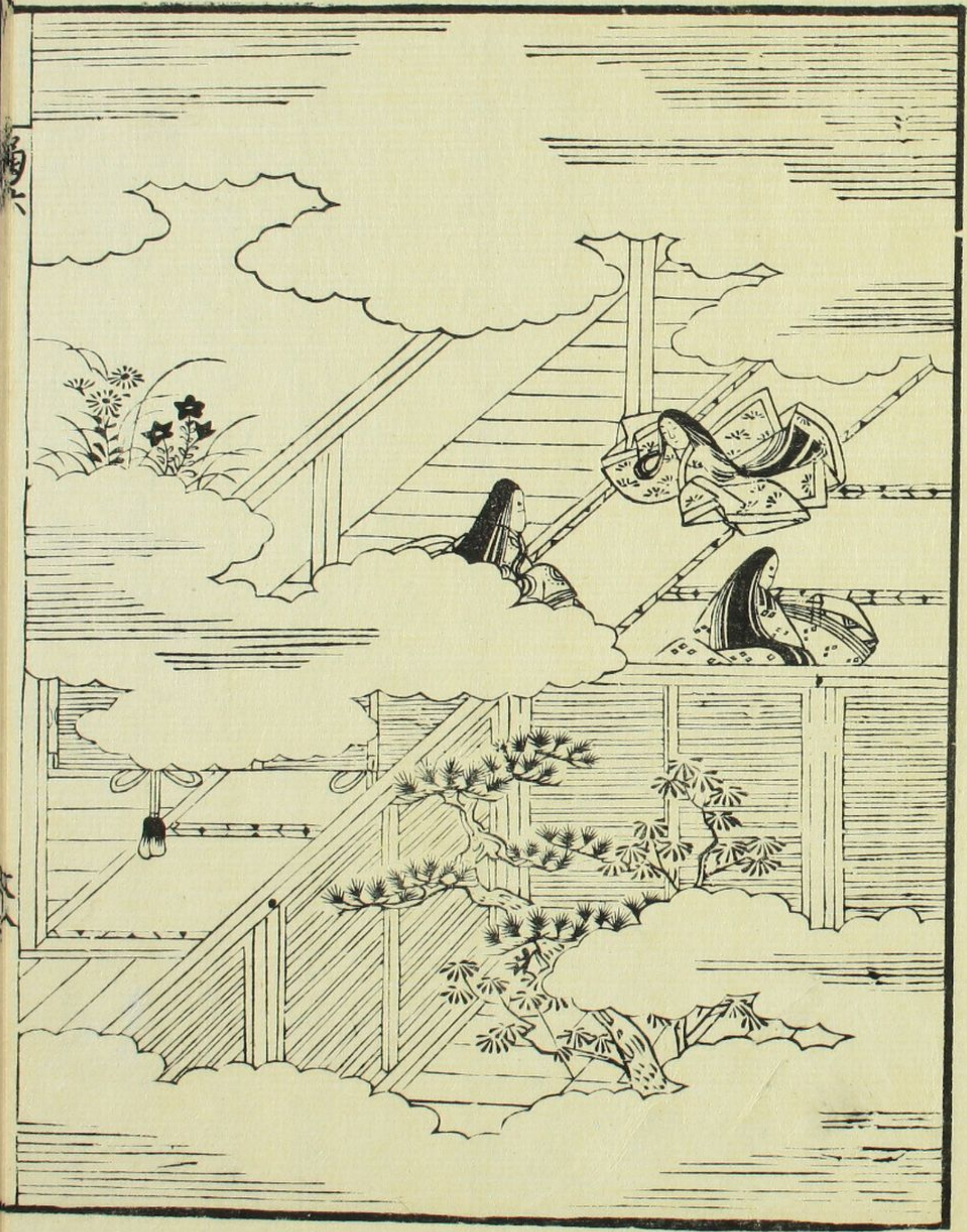
らうりまか^かせむ^せん^んに^にた^たえ^えし^しり^りま^まあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 け^けい^いて^て源^源幸^幸お^おひ^ひ三^三条^条あり^りら^らり^りわ^わくに^にあ^あら^らくれ^れ
 り^りら^らり^りあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 ん^んあ^あり^りま^まり^りの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 せ^せい^いか^から^らあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 せ^せい^いか^から^らあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 ゐ^ゐあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 ら^らり^りあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 ら^らり^りあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 ん^んあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 ゃ^ゃあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し

せ^せい^いか^から^らあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 の^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 の^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 て^てら^らあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 ら^らり^りあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 ら^らり^りあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 せ^せい^いか^から^らあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 ゃ^ゃあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 ら^らり^りあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し
 て^てら^らあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^しの^のあ^あは^はし^し

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



うたひあへ。まじい世のこころくせわく給ありく
ちび

こしたまふ。一はたこ。一はまよふ。まよふ
しみろあゆ。一はまよふ。まよふ

まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ
の世よ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ

れまよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ
まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ

まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ
まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ

まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ
まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ

うたひあへ。まじい世のこころくせわく給ありく

うらりあへく

わらへんあへく

まらゆけい

わらへんあへく

わらへんあへく

あししのせ

まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ

まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ

まらゆけい

まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ

まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ

あししのせ

まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ

まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ

まらゆけい

まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ

まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ。まよふ

さしあがり	さしあがり	たりたりて
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり

さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり
さしあがり	さしあがり	さしあがり

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

ねじりうまれまひのなほくろくはなほおほ
 きこくしんあはれしあなち好友のほし
 まよおねじりくしんの移るまゝなふく^神ハ
 又花さうらりまじしむむぬきあはれ
 しりくおしあはれりてのなほよなほりしてん
 をのまゝりてふりまゝのむらゝりてんらん
 のさる
 ねじりくしんの移るまゝなふく^神ハ
 まよおねじりくしんの移るまゝなふく^神ハ
 又花さうらりまじしむむぬきあはれ
 しりくおしあはれりてのなほよなほりしてん
 をのまゝりてふりまゝのむらゝりてんらん
 のさる

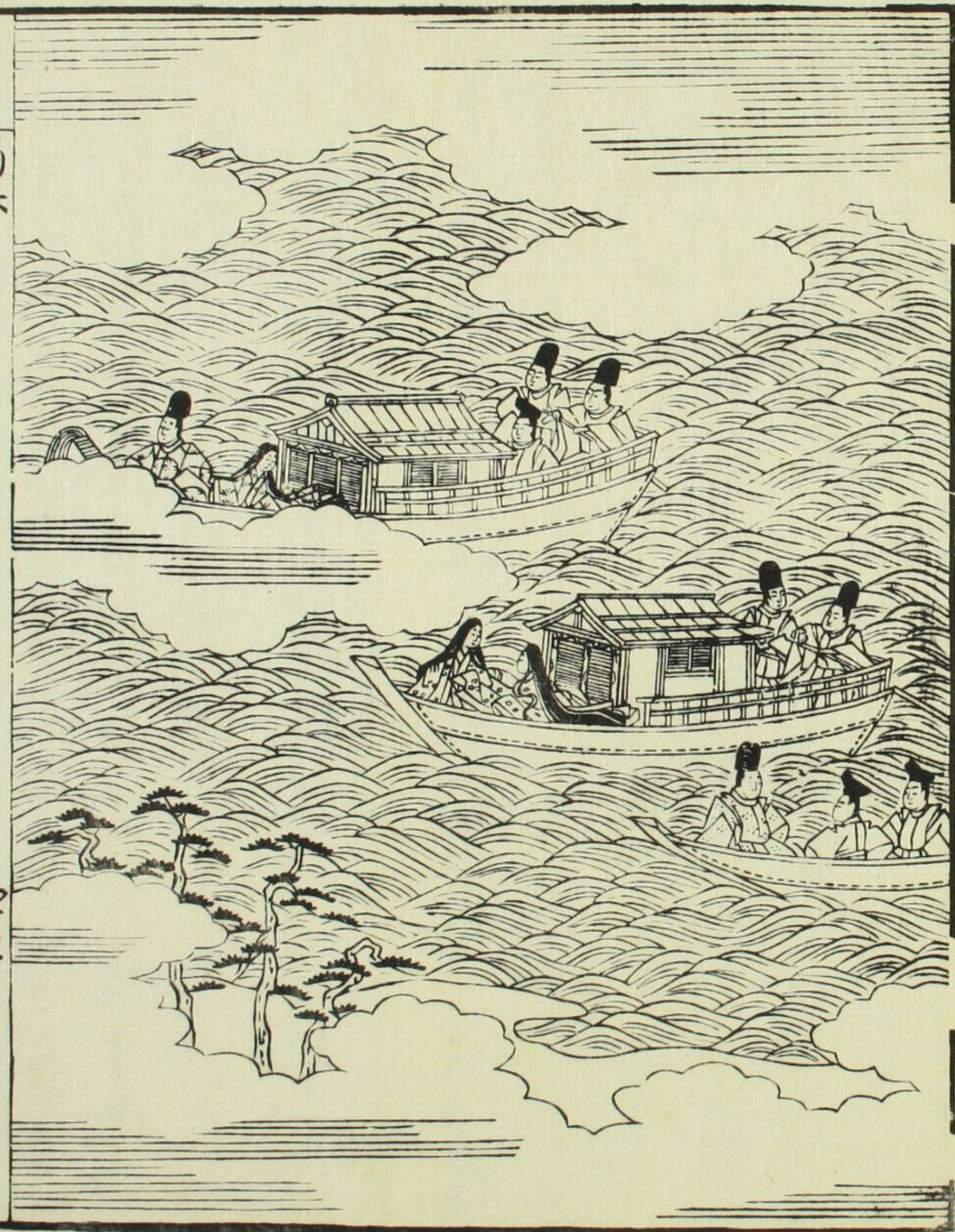
かねておぼやかし中將殿

うまれまひのなほくろくはなほおほ
 きこくしんあはれしあなち好友のほし
 まよおねじりくしんの移るまゝなふく^神ハ
 又花さうらりまじしむむぬきあはれ
 しりくおしあはれりてのなほよなほりしてん
 をのまゝりてふりまゝのむらゝりてんらん
 のさる

かねておぼやかし中將殿

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a cursive style and is contained within a rectangular border. The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a cursive style and is contained within a rectangular border. The script is dense and fills most of the page.



海に舟を三つ乗せしむるの事
は舟に人乗せしむる事
は舟に人乗せしむる事
は舟に人乗せしむる事

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 10 lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 10 lines.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 15 lines of dense cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 15 lines of dense cursive script.

Small handwritten text or marginalia on the left side of the page.

Small handwritten text or marginalia on the left side of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a long, flowing line that curves across the top of the page. The script is dense and continuous, with many loops and flourishes. The text is contained within a rectangular border.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a long, flowing line that curves across the top of the page. The script is dense and continuous, with many loops and flourishes. The text is contained within a rectangular border.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical passage. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical passage. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical passage. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical passage. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical passage. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical passage. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical passage. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical passage. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical passage. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a fluid, connected style. There are some small annotations or characters interspersed within the main lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a fluid, connected style. There are some small annotations or characters interspersed within the main lines of text.

Small handwritten characters or a mark at the bottom left of the page.

Small handwritten characters or a mark at the bottom right of the page.

やうにいぢりいぬのほるはひふいふをのんかたふむ
こころをいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
は。そのかゝるはこの事なかり天地は浄ら
き一給つてゆふ源奉おなげとくしこいぢりいぢり
ん。ゆえうのりりてわふらぬにひひいぢりいぢり
よ。罕ぬいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
うりぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
履^履天くはせくはらばらららららららららららららら
なしんぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
七日七時かのひよりゆへにやふらぬに
中ぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり

みぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
つしむはらばらららららららららららららららら
なしんぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
よ。罕ぬいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
うりぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
履^履天くはせくはらばらららららららららららららら
なしんぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
七日七時かのひよりゆへにやふらぬに
中ぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
みぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
つしむはらばらららららららららららららららら
なしんぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
よ。罕ぬいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
うりぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
履^履天くはせくはらばらららららららららららららら
なしんぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり
七日七時かのひよりゆへにやふらぬに
中ぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢりいぢり

二五

二六

きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす

そら、あらし

みまきりぎりすきりぎりす

めいし

きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす

きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす
きりぎりすきりぎりすきりぎりす

そら、あらし

めいし

二階をいでてはくはるんをえはせむらして
あしやうのちをかへし中將

ふけいふくまふしんさるめいめいめい
あしやうめいめいめいめいめいめい
あしやうめいめいめいめいめいめい
あしやうめいめいめいめいめいめい

あしやうめいめいめいめいめいめい

あしやうめいめいめいめいめいめい
あしやうめいめいめいめいめいめい

あしやうめいめいめいめいめいめい

あしやうめいめいめいめいめいめい
あしやうめいめいめいめいめいめい
あしやうめいめいめいめいめいめい

あしやうめいめいめいめいめいめい
あしやうめいめいめいめいめいめい
あしやうめいめいめいめいめいめい
あしやうめいめいめいめいめいめい

あしやうめいめいめいめいめいめい

あしやうめいめいめいめいめいめい
あしやうめいめいめいめいめいめい
あしやうめいめいめいめいめいめい
あしやうめいめいめいめいめいめい

あしやうめいめいめいめいめいめい

とて神にむかひたりそとくさみ

しらぬもくし海に波はつちなほくさり一層と波
くてもまじくし波にまじりてなれどくさるるれつて
終つし中^{ちう}にわたりし波にまじりてなれどくさるるれつて
み終つてくさるるれつてなれどくさるるれつて
んくさるるれつてなれどくさるるれつて
りくさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて
のめくさるるれつてなれどくさるるれつて

夕書の上もくされつたなりきりくはらされ
とまふ人のめくされつたなりきりくはらされ
ちりまふ人のめくされつたなりきりくはらされ

よのつとくさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて

子人のめくされつたなりきりくはらされ
くさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて

よのつとくさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて
くさるるれつてなれどくさるるれつて

しんじくがむらじりあつてしんじくがむらじりあつて
くさひあつてあつてしんじくがむらじりあつて
よしあつてあつてしんじくがむらじりあつて
くさひあつて

あつてあつてしんじくがむらじりあつて
くさひあつてあつてしんじくがむらじりあつて

あつてあつてしんじくがむらじりあつて
くさひあつてあつてしんじくがむらじりあつて

あつてあつてしんじくがむらじりあつて
くさひあつてあつてしんじくがむらじりあつて

あつてあつてしんじくがむらじりあつて
くさひあつてあつてしんじくがむらじりあつて
あつてあつてしんじくがむらじりあつて
くさひあつてあつてしんじくがむらじりあつて
あつてあつてしんじくがむらじりあつて
くさひあつてあつてしんじくがむらじりあつて

わつしつと色つらとて後ゆかりつらつらぬらぬら
をせりやとて

あつめのさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
川人いせしつらとて舟をさし舟をさし舟をさし舟をさし
月よつらとてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
比原中将とてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
とにりつらとてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
中納言とてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
とらぬらとてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
おの四十九らんりきあほつらつらつらつらつらつら
どいとすつらつらつらつらつらつらつらつらつらつら

いふとてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
をほれぬとてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
うらつらとてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
御つらとてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
あつとてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
つらとてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
さむのねとてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
てつらとてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
とつらとてさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
さむらひのさむらひのさむらひのさむらひのさむらひ
のさむらひ

いふとて
さむらひ

今案菊宴為第十六卷
宛て之やうなり詳也

